

仲小路廉 なかせうぢ 官僚、漢詩人。慶應二年七月二日周防國生れ、大正十二年一月十七日歿（一八六一—一九二四）。幼名喜久二。號鶯軒。明治十五年大阪府より開成學校卒。二十二年同僚中最年少の東京地方裁判所検事となり、東京控訴院検事等を経て官界を轉じ、司法省參事官、遞信省官房長、内務省警保局長、農商務大臣等を歴任。四十四任貴族院議員、大正十一年樞密院顧問官。劇作家で、のちの戦史研究家として著書多數を有る仲小路勤の父。

著書に『歐米巡遊雜記』米國之部（明治三十三年九月十七日長谷川友二郎編輯）、漢詩集「時事雜詠」を附載した『強者の天地』（大正五年十一月十日實業之日本社）、『現代と偉人』（大正六年四月二十一日大倉書店）、『仲小路廉集』（一・大正十四年一月十七日鶯軒會）等。

